



宇宙

Vol.57

●題字は深町正喜氏



富士山御来光（井上勇雄氏撮影）

■ 訪問看護ステーション立ち上げ 2	■ 聖陵トピックス 6
■ 全体研修会 2	■ 日田漫歩 ④③ 8
■ 逆流性食道炎について 3	「ゴルフよもやま話」
■ 放射線科紹介 4	■ かんたんレシピ no.8 8
■ 夏祭り 5	
■ 病院バス旅行 5	

訪問看護ステーション立ち上げ

訪問看護ステーションいわさと

平成 25 年 8 月 1 日に訪問看護ステーションが開設され、岩里病院の患者さん以外の方にも訪問看護を利用してもらえるようになりました。

岩里病院の訪問看護の歴史は長く、平成 4 年 8 月 11 日に自宅で入浴出来ない患者さんの入浴介助に入ったのが始まりです。その後、現在まで沢山の看護師が自宅での看護に関わってきました。

平成 22 年 6 月 1 日より専任の看護師が訪問に出るようになり、岩里病院の在宅医療が本格的に動き出しました。病院を退院しても不安な方、毎日の通院が困難な方、最期まで自宅で過ごしたい方、この 3 年間で色々な方と出会い、病院とは違う患者さんと看護師の関わりを作ってきました。住み慣れた家の良さ、家族内の役割、病院では見られない素敵な表情、患者さんに対する家族の暖かさを身をもって感じ在宅看護の必要性を感じています。

現在、病院の入院期間は短くなり自宅での介護

や看護が多くなっています。しかし、核家族化や少子高齢化が進むこの時代に、家族だけで介護や看護を行うのは大変な事です。

私たち訪問看護師は住み慣れた自宅で安心して療養・介護できるようにお手伝いしていきます。介護・看護の方法でお困りの方はお気軽にご相談ください。

訪問看護ステーションいわさと（岩里病院内）

090-7168-6498（直通）

財津丸美



全体研修会

平成 25 年 6 月 22 日（土）、パトリア日田 小ホールにて、全体研修会が行われました。

参加者：ストリーム 100 名、岩里病院 82 名、花月クリニック 5 名、計 189 名

一般参加者 2 名

司会：桑原 亮（事務局長）

座長：砂原賢士（岩里病院副院長）

演題

節約「デマンドコントロール～導入後の経過報告～」
矢幡大典

導入後より、電力が抑えられている事がグラフで視覚的にわかりました。ただ電気料金の値上げにより、料金的にはもっと節約が必要のようです。



節電を行う中で利用者さんへ負担を掛けることがあり、その対応が問題となっており、今後対策として、新しいエアコンの導入を検討中。また、病院も導入予定のため、対応方法を検討していきたいと思います。

安全管理 「看護師における安全管理対策の取り組み」

武内麻由

インシデントを確実に提出していく事で、分類分析を行い、対策が立てられており、今までで、効果的に対策がとられた内容についての事例があり、分かりやすかった。

又事故は個人の問題だけではなく、システム的なこともあり全体で、他部署との連携も効果が見られていた。これからも、医療の現場の中でミスがないように取り組んでいきたいと思っています。

感染対策「今話題の風疹」

小南達矢先生

今流行りの風疹について、なぜ問題になっているのか、どのように対応していくかを判りやすく説明がされ、職員の中でも若い方も多く、とても興味を持って聞くことが出来ました。又予防接種の必要性、「過去に、罹ったかもしれない」は、あてにならないことを確認することができました。

J R E「ポジショニングにおける当院の対応と試み」

西見信哉

ポジショニングの大切さと方法について再認識できました。また、補助道具の利用で介助者の負

担が減るため、導入・活用できれば良いと思います。

看護師のポジショニング体験例などもあり「もっと詳しく聞きたい」「勉強会を開いてほしい」との意見が多かったです。

特別講演「脊髄損傷になった脊椎外科医のお話」

小川浩一先生（新小文字病院副院長）

実体験による話の中で、解剖生理など難しい内容ではありましたが、動画を交えての説明でとても分かりやすかったです。

リハビリを行ううえで、回復する見込みのないものに対しあきらめること、残存機能を鍛えていくことの大切さ、退院してからのリハビリの継続、社会環境の整備について考えることが出来ました。

どのテーマも内容が濃く、とても勉強になりました。



逆流性食道炎について

胃食道逆流症（GERD: gastro-esophageal reflux disease）

早朝や食後の胸焼け、口の中まで酸っぱい水が上がってくる感じ、のどのイガイガ感、胸痛などで困っている方はいませんか？

近年、このような症状を訴えられる方が増えてきており、食道へ胃酸が逆流していることが原因の一つと考えられます。

- ①胃の内容物が食道に逆流しやすい状態にある。
- ②食道の粘膜を刺激する強い酸が胃から分泌されている。
- ③（逆流が少なくても）食道の粘膜が過敏になっている。

以上により、症状が出ている状態を、胃食道逆流症といいます。

胃食道逆流症のうち、実際に食道がただれている場合を逆流性食道炎といいます。ただれていなくても症状は出ます。

このような状態が起こりやすくなる要因として、

①生活習慣

食べ過ぎ、早食いなどの食習慣、高脂肪食、チョコレート、カフェイン（緑茶、コーヒー、紅茶）、アルコール、喫煙などの摂取物、食べてすぐ寝る習慣。

②体型

前かがみ姿勢をとることが多い、腹部を締め付けるような服装、肥満や腰の曲がった方など、お腹に圧力がかかる状態。

③その他

胃の手術後。狭心症の治療薬や一部の降圧薬による副作用。

などがあり、以上の事を避けることで症状の緩和が期待できます。

症状が続くと生活の質が下がるだけでなく、潰瘍や出血、食道癌の原因となることがあります。胃食道逆流症の症状は、胃酸を抑える薬や胃の運動を調節する薬で症状を十分に抑える事が可能です。

しかし、同じような症状がでる他の病気（狭心症など）が隠れていたりすることもあるので、まずは、受診することをお勧めします。

参考文献

日本消化器病学会 胃食道逆流症（GERD）ガイドブック

岩里病院 消化器内科医 山田 隆 史

放射線科の紹介

◎質の高い医療を提供

一般教養・専門等の知識・技術の習得に努め、自分自身を高める。

◎患者満足

患者さん一人一人が、我々に何を求めているか察知し、できる範囲で対応する。

上記を部門目標とし、救急患者さんの検査等で、24 時間いつでも検査ができる体制をとっています。

また、今年5月に透視装置を更新し、当院の放射線科での検査は、フィルムレス（デジタル画像）で全て運用しており、診断は、診察室のモニターで行っています。

※岩里病院で撮影された画像と、花月クリニックで撮影された画像は、岩里病院・花月クリニック・聖陵ストリームの、どの施設でも閲覧可能です。

検査に関する疑問などは、主治医または、放射線科スタッフまでお気軽にどうぞ。

一般撮影装置（俗に言うレントゲン検査）

X線（放射線）を利用し、平面の写真を撮ります

検査部位：胸部、腹部、骨など

検査時間：1分～30分程度



CT装置

X線を使用し、体の断面画像や3D画像を作ります。造影剤というお薬を使えば、広範囲の血管も撮影できます。

検査部位：頭部、胸部、腹部、骨、血管など

検査時間：2～10分程度



MR I 装置

磁力を利用し、体のあらゆる断面画像が簡単に作れます。数種類のパターンで撮影しており、検査時間がかかりますので、予約をお勧めします。

検査部位：頭部、脊椎、関節、腹部など

検査時間：20分～1時間程度



透視装置

X線を利用し、バリウムを使って胃腸の検査ができ、内視鏡検査の補助も行います。

また、リアルタイムに画像が観察できます。

撮影部位：胃、大腸など

撮影時間：10分～1時間程度



骨塩定量

X線の吸収差を利用し、骨の密度（丈夫さ）を測ります。骨粗鬆症の診断に役立ちます。

撮影部位：腕

撮影時間：1分程度



画像サーバー：各装置で作成された画像を、保存し、診察室等のモニターで閲覧できます。

遠隔画像診断：CT・MRI画像を、九州大学の放射線科医に診断してもらうことができます。

※CT・MRI検査の予約に関しましては、放射線科までご連絡ください。

岩里病院 放射線科 宮野大樹

夏祭り

今年も8月3日（土）に第16回聖涼祭を開催しました。今年のテーマは「聖陵会から地域へつながる輪」ということで、昨年よりも多くの方をご招待させていただきました。

屋台出店やバザーの開催、抽選会の他、イベントでは日隈小学校金管バンドによる演奏、大山小学校の河津太丸君による落語「お笑い一席」、ネフェルベリーダンスによるベリーダンスが祭りを



盛り上げてくださいました。また、竹灯籠の明かりのもと、亀川町くどき保存会を始め、婦人会の方のご協力のもと毎年恒例の盆踊りを行いました。

途中少し天候が崩れましたが、最後まで事故なく無事に執り行うことができました。

ご来場していただいた皆様、ご協力いただいたイベント出演者の方々、ありがとうございました。

平成25年度聖涼祭実行委員長 中尾雄司

外来バス旅行～in 熊本

6月9日（日） 病院外来患者さんと熊本へバス旅行に行ってきました。

当日は雨の中の集合になってしまいましたが、外来で見る患者さんの表情とは違うウキウキした表情でバス旅行を楽しみに待っていたようにみえました。

清和文学館で文学鑑賞、昼食と買い物をしました。九州唯一の人形浄瑠璃が楽しめる場所で、6月の公演は「日高川入相花王」という題で王位継承争いなどを題材にしていました。お芝居の後はふれあいタイムもあり人形に触れる事ができまし



た。患者さんは人形に手を伸ばして握手をされたり等、とても喜ばれていました。

ふだん旅行は行きたくても体調のこと病気のことを心配でなかなか遠出することが出来ない患者さんにとっては、医師や看護師と一緒に行くことで安心して参加できるんだろうなと感じました。「また来年も参加したいから、まだまだ元気でおらんといかんね。」という患者さんの声が聞かれました。

今後も一年に一度、岩里病院外来でバス旅行を予定しています。是非参加してみたいかがですか。

病院外来看護師 松尾美由樹

鹿児島旅行

6月15～16日、鹿児島へ行ってきました。今回の旅行では行きに、新幹線を利用するというこ
とで、新幹線初体験の私は人知れず大興奮。車では
高速を利用しても数時間かかる鹿児島までの道のり
を、あっという間の1時間20分で到着！雨で景色
は楽しめませんでしたが、あまりの速さに感動しま
した。

鹿児島市内から桜島に渡り、展望所まで行しま
したが、ここでもやはり雨と霧できれいな景色は拝め
ず仕舞いでした。次の日のえびの高原トレッキング
も雨と霧に見舞われ、霧島神宮へ予定を変更し、皆
で参拝してきました。

今回の旅行では、鹿児島名物黒豚しゃぶしゃぶな

どを頂いたり、仙巖園の見学など、とても有意義な
時間を過ごせました。また新幹線に乗って鹿児島へ
行きたいと密かに思っています。

ストリーム 佐藤沙織



日帰り旅行

梅雨が明けたかと思われるような暑さだった7
月7日。総勢18名で、福岡に日帰り旅行へ行っ
てきました。今年の旅行はここ数年恒例となってい
た観劇ではなく、『癒しを求めて』ということで最初
の目的地は、福岡市アジア美術館。フロア内を見学
していると「トゥクトゥク(アジアの三輪タクシー)」



と思われるような乗り物を発見。早速記念撮影。そ
の他にも東南アジアを中心とした絵画が展示されて
いて、気がつけば真剣に見入る職員多数。あとい
う間に時間が過ぎました。その後は、旅行のメイン
イベントでもある「マリエラランチクルーズの旅」。
約90分のクルーズでしたが、日頃の食生活が垣間
見える感想も聞かれ、何とも賑やかな船旅でした。
最後は、グループに分かれ癒しの真骨頂「マッサー
ジ体験」。足つぼマッサージでは「かかと乾いてる
ね。」とマッサージのお姉さんに厳しい一言を浴び
せられながらも眠たくなるようなあっという間の
15分を過ごしました。この日、日田では激しい雨
が降ったりやんだりということでしたが、福岡では
雨にあうこともなくとても楽しい時間を過ごすこ
とが出来ました。

ストリーム 高瀬麻美

壱岐旅行

7月20～21日に慰安旅行第3班となる壱岐に
行ってきました。

壱岐に着いてからはマリンスポーツ、海釣り、島
観光の3班に分かれ、それぞれの壱岐を楽しみまし
た。

旅館に戻ると、豪華な夕食が待っていました。聖
陵会の慰安旅行には壱岐がないと始まらないほど、
壱岐の旅行は大人気！その人気の理由はこの夕食に



あるのだと思うほど豪華な食事でした。刺身の盛り合わせに始まり、海の幸が次から次へと出てきました。最後に昼間海釣りを楽しんだみんなが釣ってきた魚を素揚げにしてもらい、美味しく頂きました。

翌日は一志国博物館で壱岐の歴史を学び、焼酎工場で壱岐限定の焼酎を買い、昼食は美味しい壱岐



牛を堪能し日田へと戻ってきました。

青い空、青い海、美味しい料理。心も体も胃袋もリフレッシュされました！

訪問看護ステーションいわさと 財津丸美



富士登山

7月27日(土)～29日(月)、世界遺産となった「富士登山」へ職員9名で行ってきました。

初日、福岡空港を出発し、羽田空港へ。東京での自由行動は「隅田川花火大会」と重なり交通機関は大混雑、雷雨で電車が一時運休したりもしましたが、各自買い物等楽しむことができました。

2日目は朝食後、バスで「富士山駅」へ出発。天候がすぐれず、富士山の姿ははっきりと見えません。山梨県側吉田口(標高は2,305 m。久住山は1786.5 m。)から登頂しました。ガイドさんは地元の方で毎日登山されているような方でした。高山病にならない様、酸素をたくさん取り込めるように、「風船を吹くようにフーッと長く吐いて口に吸いこむ」と教えて頂きました。私は、最近脱水になりやす



くなっていたこともあり、水を多めに持参しましたが、荷物が重たくなり裏目に出てしまいました。6合目で、世界遺産後話題の入山料を払い、記念のバッジを頂きました。7合目から8合目は這っ

て登るような岩場や火山灰の砂利に足を取られ、大変でした。でもいつの間にか雲の上、積乱雲が遠くに見えます。ストックを使い上へ上へと登って行きました。夜7時を過ぎて本8合目3370 mにある山小屋に着き宿泊しました。

3日目は雨で寒かったため、ダウンジャケット、ウインドブレーカー、レインウェアを着て午前2時に出発しました。山頂の山小屋に到着し、豚汁やおしるこ、ラーメンなどを食べながらご来光のその時を待ちました。相変わらずの天気でしたが、下山予定の午前5時ごろ、空全体が赤く染まり、10分ほどその光を見ることができました。

今回は、富士山の雄姿や周りの風景を見ることができず残念でした。しかし、とても貴重な体験をさせてもらい、家族や職場の方々に感謝しています。

ストリーム 小西勝子



日田漫歩⁽⁴³⁾

ゴルフよもやま話



梶原 義則

異常に暑かった夏が、ようやく過ぎた。猛威を振るった「熱中症」。一步間違えば命取りになりかねない。筆者も一度、それらしい症状に、出くわしたことがある。

18年前の8月、カンカン照りの福岡市近郊のゴルフ場。起伏が激しい山岳コースだ。昼食でビールを飲み、後半の3ホール目。急に目の前が真っ暗になり、心臓ドキドキで冷や汗、息が継げない。仲間に先に行くよう告げ、迎えに来たカートでクラブハウスに引き揚げた。水をがぶ飲みし、水風呂に入り、ようやく“蘇生”した。無理にプレーを続けていたら……。

その頃、仕事上、年間25～30回コースに出ていたが、スコアは1回も100を切らなかった。理由は簡単、練習を全くしない。皆に迷惑かけない程度に楽しめればいい、と。

担当の夕刊コラムに、たまにゴルフの話を書いた。九州経済連合会長（当時）の川合辰雄さん。年齢の82で回るエイジシューターを達成し、

「経済人のタフさ」を見せつけた。4カ月後、岩田屋デパート会長（同）の中牟田喜一郎さんがホールインワン。「何回目？」と聞くと「56年やっているが、初めて。自分も（年齢の）84で回りたいと願っていたら、コロコロと穴に吸い込まれた」。一緒に回ると、フワーツ、フワーツと優しく一直線の球筋の人だった。

ある経営再建中の会社社長。1週間に2度、ホールインワン。「絶対に書かないで」と懇願された。「ゴルフは取引先接待で必要なのだが（遊び過ぎと）株主などに誤解される」

筆者は50歳のときに始め、日田に来て4年目にやめた。若い人には「機会があれば、やるべき」と勧めている。「腕自慢、道具自慢」を聞かされるだけでは、いかにも悔しい。



日田市内のゴルフ場

経歴：毎日新聞記者。鹿児島支局長、経済部長、編集委員を経て2000年4月、日田赴任。

かんたんレシピ♪

no. 8 白玉粉DE梅が枝餅

ポイント：出来立てのカリッとした感じも美味です。白玉粉で作る梅が枝餅はもちもちです。

【材料】

白玉粉／200g
水／190cc～（調整してください）
餡子／240g～

【つくりかた】

1. 白玉粉を耳たぶくらいにこねる。
2. 餡子30～40gをいれて まるめる。
3. 熱したフライパンの上で平たくつぶして中火で焼く焼き色がついたら裏返して片面も焼く。
4. ラップに包んで完成！（岩里病院栄養給食科）



編集後記

お盆を過ぎ、秋が少しずつ近づいてきています。秋は気候が良く、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、聖陵会もたくさんの行事が準備されているようです。次回の広報誌で皆さんにお伝え出来るように、いつもアンテナを張っておこうと思います。

広報委員会「宇宙」担当



医療法人 聖陵会

■ホームページ <http://www.seiryu.or.jp/index.html>

■E-mail seiryu@seiryu.or.jp

救急指定 聖陵岩里病院

介護老人保健施設 聖陵ストリーム

居宅介護サービスセンター

訪問介護サービスセンター

こども発達・支援センター銀河

聖陵花月クリニック

アンコール小児病院(カンボジア)